

## 5.8. 異文化に耳を傾けよう

(国連事務総長 Kofi Annan 講演の一部翻訳、ECHO<sup>1</sup> 2002. 1)



．．．過去の歴史から学ぶことは多い。その一つに「限りなく多様な文化が存在する一方で、受容と自由の精神に発する万人共通の文化も存在する」ということがある。それは「異なる」ことを排除せず、文化の多様さに価値を認め、宇宙根源的な人権を保障し、あらゆる人がその統治の方法に意見を述べる権利のあることを認めることで成り立つグローバルな文化である。それは「多様な異文化」が決して恐れるものではなく、価値あるものと信ずる文化である。事実、過去の戦いの多くは、自分とは異なる人々への恐れが起因になってきた。かかる脅威を取り除くには、相手に耳を傾ける話し合いを通してしか方法がない。[http://www.un.org/News/dh/latest/sg\\_re-elect.htm](http://www.un.org/News/dh/latest/sg_re-elect.htm) [http://www.un.org/News/dh/latest/sg\\_re-elect.htm](http://www.un.org/News/dh/latest/sg_re-elect.htm)

したがって、多様性こそ異文化間の対話の基礎であり、対話を必要とする理由でもある。新しい世紀を迎えるに際してこのグローバルな文化をこそ、守り育てることがわれわれに求められている。

これに応えるためには、壁を新しく造るようなことをせずに対話を育むことに意を尽くし、融合を妨げることなく協力関係を進めねばならない。

．．．このように広く普遍化することは、異なる人種、文化、民族が融合、移動、グローバル化によってこれほどかつてなく身近に接する現代の試練に耐え切れないのも明らかである．．．

．．．私はわれわれ自身の（個人としての）信念や伝統に誇りを持ってないと言っているのではない。われわれはそれを持っていて良いし、持たねばならない。自分の持っているものは当然他人の持っているものと違うのだ、と考えることが間違いであり、危険だと言っているのです。自分がないものを嫌悪することなく、自分を慈しむことが出来るのです．．．



<sup>1</sup>アメリカのある大学での事務総長の記念講演の一部を職員の協力で各国言語に翻訳、特集した。私には日本語の依頼がきた。集まった言語数がなんと五十を超した。